

最初に発売した L i -10、後継機である L i -10 Aにて、コニカレーザーイメージヤは市場での評価を確固たるものにしてまいりましたが、今回更に機能を発展させた L i -21、コンパクトな普及タイプの L i -7 の発売によりレーザーイメージヤのシリーズ化を行いましたので紹介致します。

◆コニカレーザーイメージヤ L i -21

L i -21 は、すべてのお客様のニーズを最大限に満足し、最高の機能と仕様とを備えた、“新世代レーザーイメージヤ”をコンセプトにして開発致しました。従来機にて定評を得た高画質は、L i -21 では更なる安定高画質を実現し、充実した機能と仕様に加え、作業環境の改善や効率化のためのシステムアップを可能にしました。また従来、高機能機というととかく大型に偏りがちでしたが、L i -21 ではコンパクト化を実現しました。

1) マルチサプライ設計

L i -21 のフィルムサプライ部は標準仕様で 2 チャンネルあります。これは診断装置とマルチモダリティ接続をした場合、各診断装置によって異種サイズのフィルムが使用出来ることを考慮したものです。このサプライ部は 3 チャンネル仕様を選択することが可能になっています。また同一サイズのフィルムを使用すれば最大で 300 枚の連続撮影が可能です。フィルムサイズは半切、大角、大四切、四切、六切の 5 サイズが使用できます。

2) マルチモダリティ対応

L i -21 は 1 台で最大 8 台の診断装置と並列に接続することができます。ビデオ接続／ディジタル接続に制限なく 8 枚のインターフェースを内蔵できます。

また、インターフェースは従来機の L i -10 Aとの共通化を図りましたので、L i -10 Aでの様々な診断装置との接続実績をそのまま L i -21 に生かす事が出来ます。

画像メモリーは標準で 680 MB のハードディスクを搭載しており、標準的なメモリ量の画像で約 2000 画像もの画像ストアを行うことができます。これにより各モダリティから画像入力を連続に行っても、作業にロックアウトをきたすことはありません。

3) コンパクト設計

L i -21 の設置床面積は、小型機並の大きさで僅か 0.39 m²です。マルチモダリティ接続を 8 台可能とし且つ設置床面積を少なくすることには特にこだわりました。設置床面積の縮小はフィルム搬送経路の短縮、プリント部、電装部、搬送部を効率的に配置し、デッドスペースを極力排除することで達成しました。

4) 機能の充実

従来機にない新しい便利な機能を紹介致します。

①マルチプレビアス機能

ディスク内に蓄積されている画像データをフィルム 1 枚単位で呼び戻し再度プリントを行う機能です。この機能は直結された自動現像機でフィルム詰まりが発生し、プリント済みのフィルムが使用出来なくなった場合でも、画像を再ストアをすることなしに L i -21 にて画像を呼び戻し再度プリント処理する場合などに使用します。

②ストア方向の切り替え機能

フィルム上への画像入力順序は左から右の横方向に入力されますが、L i -21 では上から下の縦方向への入力も可能にしました。この機能は人体の左右を対比して診断したい場合などに便利です。

5) システムアップ

自動現像機との直結は、直結ユニットを使用して直列タイプ、並列タイプのそれぞれが選択出来ます。並列設置の場合、操作方向が一面化できます。更に自動現像機出口にコニカフィルムソーター L i S -1 を接続することにより、MRI や CTなどのモダリティ毎にフィルムを種分けすることができます。マルチモダリティ接続時の煩雑なフィルム種分け作業から解放され作業環境の改善、効率化を計ることに役立ちます。

◆コニカレーザーイメージヤ L i -7

レーザーイメージヤが普及した最近では従来の CRT イメージヤからの買い換えを容易に出来ること、新しいシステムとして登場してきたネットワークシステム等に対応出来ることなどがイメージヤに求められるようになりました。L i -7 はそれらの市場背景をもとに、低価格でコンパクト、高級機並みの高画質、使いやすさ、システムアップを目標として商品化しました。

1) コンパクト設計

コンパクト化のために波長 670 nm の半導体レーザーを使用、更に光学系全体の縮小と配置方法の検討、スイッチバック方式搬送機構による搬送経路の短縮、専用基板の開発による電装部の縮小等により設置床面積 0.39 m²を実現しました。CRT イメージヤのスペースにそのまま置き換える設置が可能な大きさであり、ネットワークシステム端末での分散設置にも適しています。

2) 高級機並みの高画質

レーザーイメージヤである限り高画質は絶対条件と

いえます。従来機のLi-10 A同等の主走査性能、DCモーターを採用した新設計の安定副走査機構、更に小型軽量化の振動に対する考慮として光学系を本体下部に配置する等の配慮をしています。

3) 使いやすさ

①サイクルタイムの向上

ストアメモリ2頁を標準装備するとともに、短い演算処理時間、プリント時間とフィルム搬送時間の短縮を行い、サイクルタイムとして17秒を達成しました。これにより通常の使用条件下ではロックアウトタイムを気にせずに作業が出来ます。

②フィルム濃度補正機能内蔵

複数の異なる自動現像機を使用する場合や、自動現像機を更新した時に仕上がり濃度が変わってしまっ

たなどの場合にこの濃度補正機能を使用することにより、常に同じ仕上がり濃度で写真作成が出来ます。

③豊富なコントローラ機能

コントローラはLi-10 Aと基本設計が同じですから高級機とほぼ同等の機能を有しています。

4) システムアップ

①マルチモダリティ対応

インターフェーススロットは2CHまで標準装備、必要な場合には外部ユニット増設で3CHまで可能です。

②ネットワークシステム対応

PACS、ファイリングシステム、ネットワークシステム等との接続を目的として入力画像データ12ビット対応を可能にしました。(オプション)

Li-21、Li-7の主な仕様

| 項目 | Li-21 | Li-7 |
|------------|---|---|
| レーザー光源 | He-Neガスレーザー(波長633nm) | 半導体レーザー(波長670nm) |
| 変調器 | 音響光学変調素子(A.O.M.) | 音響光学変調素子(A.O.M.) |
| 使用フィルム | LP-633/LP-633C, LP-670/LP-670C | LP-670/LP-670C |
| フィルムサイズ | 8*10" 10*12" 11*14" 14*14" 14*17" | 11*14" 14*14" 14*17" |
| サプライCH | 標準2CH、別売で3CH可能 | 1CH |
| フォーマット | 1, 2, 4, 6, 9, 12, 15, 16, 20, 24, 25, 30, 35 36, 42, 48 /ミックス: 2/3, 3/2, 2/6, 6/2, 2/9, 9/2 | 1, 2, 4, 6, 9, 12, 15, 16, 20, 24 ミックス: 2/3, 3/2, 2/6, 6/2, 2/9, 9/2, 1/6, 6/1 |
| 画像90度回転 | 可能 | 可能 |
| 画素数(14*17) | 4096×5120 | 4336×5200 |
| 画素サイズ | 78μm | 79μm |
| 画像データ入力 | 8bit/画素 | 8bit/画素、別売で12bit/画素 |
| インターフェース | ビデオインターフェース ディジタルインターフェース | ビデオインターフェース ディジタルインターフェース |
| マルチモダリティ | インターフェーススロット標準8CH | インターフェーススロット標準2CH |
| 濃度分解能 | 12bit/画素 | 12bit/画素 |
| 画像メモリー | ストア: 標準680MB、増設で2GB プリント: 標準20MW、増設で28MW | ストア: 4/8/16/32MBより選択 プリント: 4/16/32MBより選択 |
| 待ち時間 | なし | なし |
| 複写機能 | 99枚まで設定可能 | 99枚まで設定可能 |
| 画像枠(トリム) | 可能 | 可能 |
| ボーダー処理 | ブラック/クリア | ブラック/クリア |
| ネガ/ポジ反転 | 可能 | 可能 |
| メモリ消去 | 1駒毎/1頁一括消去 | 1駒毎/1頁一括消去 |
| 濃度補正機能 | 有り | 有り |
| 自現機直結 | 可能/直列方式: アダプタLD-9 使用 並列方式: アダプタLD-10使用 | 可能/直列方式: アダプタLD-8 使用 |
| 外形寸法(mm) | W600 D660 H1320 | W530 D570 H1110 |
| 電源(国内) | AC100V±10% 50/60Hz 600VA | AC100V±10% 50/60Hz 550VA |

診断性向上のあくなき追求——これはスクリーン／フィルムシステムの開発において高画質化と情報量の向上を実現することといえます。X線写真において、高度感を維持した場合に相反する関係にある鮮鋭性と粒状性の2大因子を同時に向上させ、大幅な高画質化を実現した「コニカハイオルソ エクセレントシステム」について、ご紹介致します。

◆ESフィルムの高画質化技術

フィルム自身の粒状性の向上のために、ハロゲン化銀粒子の平均体積を従来の約4分の1（当社比）に微粒子化しました。さらに、薄膜・高硬膜度技術を合わせて採用しました。

これにより、ハロゲン化銀本来の粒状性の向上を図るとともに、現象処理における物理的な粒状性劣化の防止が可能となり、大幅な粒状性の向上を実現することができました。

尚、ハロゲン化銀粒子の微粒子化により、感度は従来の2分の1の設計となっています（これに対しては、後述するスクリーンにて補っています）。

上記の様に、システムとして粒状性を向上させた場合に低下する鮮鋭性をカバーするために、新クロスオーバーカット層を採用しました。

その結果、クロスオーバー光を従来の2分の1（当社比）にカットすることができ、これにより、フィルム乳剤層での光拡散が減少し、フィルム単体で鮮鋭性が約15%向上しました。

◆ESフィルムの描写性向上技術

X線写真において画像のクオリティを左右する因子としては、画質2大因子である粒状性・鮮鋭性の他フィルムの描写性があり、これも重要なポイントとなります。

当社ではHMG技術をさらに発展させることにより、ESフィルムにおいてもフィルムの特性曲線を自由にコントロールし、撮影部位・撮影用途に合わせたフィルムの設計を行いました。

これにより、フィルムの描写性が、さらに向上しています。

◆XGスクリーンの高画質化技術

本システムに使用するスクリーンにおいても、高画質化を図っています。又、上記したフィルムの感度低下を補うべく高感度での設計としました。

その技術としては、

①蛍光体の層内構造を完全な傾斜粒径構造とし、フィルムに近い程大きな粒径の蛍光体を配列。

②従来と同じ $Gd_2O_3 : Tb$ 蛍光体を使用し、それを高密度

に層内に充填。

が主な特徴です。①の技術により、高感度でかつ高鮮鋭性を実現しています。又、②の技術により、システムとしてX線量子ノイズの低減が可能となり、粒状性が大幅に向上しました。

◆システム構成の検討

以上述べた、フィルム／スクリーンの技術により完成した性能をもとに、さらに現行システムの使用条件を考慮し、システムの構築を行いました。

これにより、従来から使用している撮影条件の基本項目を変更することなくお使い頂けることになり、その中で大幅な画質向上が図られています。

EXシステムをまとめると以下の様になります。

| | フィルム | スクリーン | システム |
|-----|------------|----------|----------|
| 感度 | 従来の1/2 | 従来の2倍 | 従来同等 |
| 鮮鋭性 | 従来に対し大幅に向上 | 従来に近いレベル | 従来同等 |
| 粒状性 | 向上 | 量子モトルが減少 | 従来より大幅向上 |

◆EXシステムのラインアップ

EXシステムにおいては、以下の製品をラインアップしています。

①フィルム

- SRES-C：胸部撮影タイプ
- SRES-G：標準タイプ

②スクリーン

- XG-S



カラー印刷分野における色校正は未だに校正刷り（平台校正）が主流です。しかし、校正刷りは①作業性が良くない②熟練を要する③品質のバラツキが多い④迅速性に欠ける、等様々な問題を抱えています。そこで、仕上がり品質において校正刷りにひけを取らず、かつ安定に迅速に色校正の行えるカラープルーフの登場が望まれていました。

コニカは、こうした要望に応え、ハイクオリティカラープルーフィングシステム『コニカ Excelart』を1994年7月に発売しました。

『コニカ Excelart』は、コニカが独自に開発した画期的な新技術により、印刷本紙へ画像のみを直接転写（インキ on ペーパー）するカラープルーフィングシステムです。階調再現、画像発色性はもちろん、紙の質感まで印刷物そのものです。しかも熟練を必要とせず、簡単に、スピーディに、校正刷り同様の仕上がり品質を安定して得られます。色校正の変革にチャレンジし、新校正時代を創造する『コニカ Excelart』。更なる高品質化・短納期化が要求される今日、『コニカ Excelart』は、印刷・製版作業の効率化の強力なパートナーとしてご活用いただけます。

◆コニカ Excelart の主な特長

①インキ on ペーパー（画像のみ転写）

印刷本紙の上にインキ顔料を使用した画像のみを転写する方式のため、非画像部には印刷本紙の表面が露出しており、印刷物と同等の仕上がり品質が得られます。

②広範囲な印刷本紙への適応

アート紙、コート紙はもちろん、上質紙、新聞紙など広範囲な印刷本紙へ転写できます。

（上質紙、新聞紙はアート紙、コート紙とセットの方法が異なります。）

③色濁りのないピュアな発色性

インキ顔料を使用した画像のため、印刷物と同等な色相・階調が再現できます。

④省スペース、コンパクト設計のプロセッサ

現像部の上に転写部がある一体型。操作が機器前面ですべておこなえ、スペースの有効利用がはかれます。

⑤印刷本紙に両面転写が可能

印刷本紙に両面転写ができ、印刷物と同様の折り適性を持っています。

⑥簡単操作で安定した仕上がり

簡単操作で常に良好な仕上がりが得られるので、熟練の必要がなく、誰にでもオフィス感覚で作業ができます。

◆コニカ Excelart システム構成

| | 製品名 |
|-----|--|
| 機器 | プロセッサ EX 900 L |
| | プリンター EX 900 P |
| 感材 | ○転写フィルム（ポジタイプ） EP-1Y（キ版） EP-1M（アカ版） EP-1C（アイ版） EP-2K（スミ版） ○サイズ A1, A2, A3, B2 |
| | 現像液 ED 現像補充液 ER |
| 処理剤 | |

◆EX 900 L の主な製品仕様

工程：現像部（現像→水洗→乾燥）
転写部（ドラム方式の熱転写）

処理サイズ

●転写フィルム

最大 685 mm × 920 mm (A1 サイズ)
最小 387 mm × 460 mm (A3 サイズ)

●有効転写可能面積

最大 645 mm × 920 mm (A1 サイズ)
最小 347 mm × 460 mm (A3 サイズ)

●印刷本紙

最大 700 mm × 950 mm (A1 サイズ)
最小 387 mm × 490 mm (A3 サイズ)

処理時間：4台／時 (A2 サイズ)

外形寸法：1,360 mm (W) × 1,140 mm (D) × 1,420 mm (H) mm

電 源：単相 200 V 34 A (最大)

重 量：約 420 kg



ハイクオリティカラープルーフィングシステム
コニカExcelart EX-900L(プロセッサ)

FRIENDY JET

世界初の錠剤補充システム“エコジェットシステム”を搭載しカラーディスプレイモニターとハイパーDFSを組み合わせたフレンディーの最高峰JETシリーズ、NPS-858 J/868 Jは高度のスキルフリー化を達成したばかりでなく、ユーザーの安全性、環境対応も考慮された画期的なシステムです。

◆エコジェットシステムで処理液の悩みを一気に解消

ミニラボ店主の方やオペレーターの方の一番の悩みは処理液に関することです。

従来処理液溶解は、

- ①溶解のたびにプリント作業を中断しなければならず手間がかかる。
- ②水の計量やキットの投入等に間違いが起こり易い。
- ③液をこぼして機械や店或いは洋服を汚してしまうことがある。
- ④処理液管理が煩雑でたいへん。

等々の理由からパートさんやアルバイトの人には任せられない非常に気を使う嫌な作業でした。

エコジェットシステムは錠剤を入れたカートリッジを交換するだけのワンタッチ、もう溶解作業は有りません。様々な工夫を凝らしたシステムですので嫌な作業から開放され安心してパートさんに任せることができます。

- ①ドライなカートリッジの交換だけなので機械等を汚す心配が有りません。
 - ②間違った位置や方向にセットしても入らない間違い防止機構。
 - ③錠剤表面へのコーティングによりケミカルに直接触ることがない。
 - ④飲み込めない30mm径の錠剤、苦味剤（催吐剤）コーティングにより万が一口に入れても吐き出す安全配慮設計です。
 - ⑤エコジェットならではのデジタル高精度補充＆補充液での劣化なしによる超安定処理の実現。
- エコジェットシステムはケミカルに関するスキルを不要にしました。

◆ハイパーDFSでネガ判定技術不要

プリント仕上がりを大きく左右するネガ判定技術を不要にし、作業効率を高めるスキャナーに新開発のCCDス



キャナーとワンチャンネルアルゴリズムを搭載しています。今回新たに1オーダー（または1ピース）の情報を取り込み判定する方式を採り入れ色と濃度の安定性を格段に向上させました。判定精度の向上により初めての方でも殆どロスなくプリントを行うことができるようになりました。

◆高精度カラーモニターで仕上がり画像を確認

スキャナーで読み取りネガ判定した仕上がりプリントがCRT画面上で露光前に確認できます。

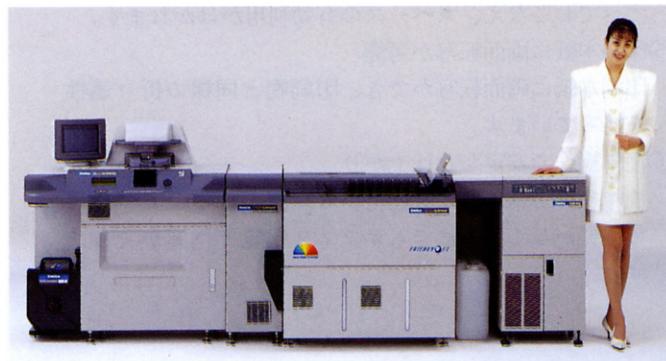
昨今のミニラボはスキャナー性能が年々向上しプリント収率も向上していますが不要コマの除去やスキャナーの苦手シーンの焼き直し等が少量発生することは避けられないこととされてきましたが、スキャナーの苦手シーンの追加補正を画面上で仕上がり確認しながら行うことにより実質“リメイクゼロ”を達成することができました。また、写真に特にうるさい特別なお客様の好みに丁寧に応えたりすることも可能です。

焼き直しは数量的には全体のごく僅かであっても、その作業時間は無視することができないほど大きくなってしまうやっかいなものでした。リメイクゼロは作業効率の面からも飛躍的メリットをもたらします。

◆排液処理とカートリッジリユースによる環境対応

'95年末をもって写真排液の海洋投棄が禁止されます。この動きに先駆け排液処理装置 ACR-40 を発表し注目を浴びました。858 J/868 JにはバージョンアップされスリムになったACR-40-2が組み合わされ排液陸上処理時代に対応しています。さらに、ゴミ減量の社会的要請に応えるためエコジェットケミカルはカートリッジのリユースを実施しております。環境対応や様々な社会的要請に積極的に応え、ユーザーメリットやコストメリットも同時に追求した画期的システムとなっています。

NPS-858 J/868 Jはエコジェットシステム+ハイパーDFS+カラーモニターの組み合わせでベテランオペレーターのノウハウをまるごと機械に組み入れた究極のイメージオペレーション／スキルフリーシステムです。パートさんでもオペレーションが可能で人件費をセーブするハイコストパフォーマンス機もあります。



コニカは、1988年に工事専用カメラとして「現場監督」を発売して以来、2焦点の「現場監督DD」、広角28mmレンズ搭載の「現場監督28」、新設計の「NEW現場監督28」「NEW現場監督」に引き続き、水洗い可能な防水性能をもつ「現場監督28WB」「現場監督WB」と、生活防水・防塵・防砂・耐ショック性能をもつ現場監督シリーズを提供し続けてきました。今回は、現場で特に要望の強い大光量フラッシュを内蔵したハイグレード機種の新製品「現場監督28HG」をご紹介します。



現場監督28 HG

工事専用カメラ

28mmワイドレンズ・防水・防塵・防砂・耐ショック

◆特徴

①大光量フラッシュ内蔵

ISO 400 フィルム使用時は20m先まで光が届くフラッシュを内蔵しています。(ISO100 フィルム使用時は10m) 夜間工事や、トンネル内の工事はもちろん、広角28mmを生かした、広大な屋内工事現場での使用にも最適です。撮影距離・フィルム感度により光量を自動的に調整します。

②切換えなしで40cmまでの近接撮影可能

切換え操作なしで40cmまで近寄って撮影ができます。建造部のクローズアップ撮影や、ボルトやナット等の部品の撮影に威力を発揮します。

③水洗いができる防水 (JIS保護等級7級)

カメラ本体や、レンズが汚れても、そのまま水洗いができます。また、水に濡れる可能性のある現場でも安心して使えます。

④パノラマ途中切換機能

標準とパノラマ途中切換機能を採用しました。パノラマ切り替え時には、ファインダーも切り替わるので、分かり易くなっています。

⑤防塵・防砂・耐ショック性能

「現場監督シリーズ」で定評の強力な防塵・防砂・耐

ショック性能を有しています。過酷な条件の現場でも安心して使えます。また、デザイン的にも頑強さを強調したデザインとなっています。

⑥従来の「現場監督シリーズ」とほぼ同じ大きさ
大光量フラッシュを内蔵していても、全体の大きさは幅142.5mm、高さ83.5mm、奥行き57mmと従来並のコンパクトサイズを維持しています。

⑦+2.0EVの露出補正が可能
空をバックにした頭上の建造物を撮影するのに便利な機能です。

⑧従来と同じモード選択方法

モード鉗を押すことによって、フラッシュ自動発光、フラッシュON、フラッシュOFF、+2.0EV露出補正、セルフタイマー撮影、無限遠撮影の6モードを循環し、液晶パネルに表示します。

◆コニカ「現場監督28HG」の主な仕様

| | |
|--------|---|
| レンズ | 28mm F 3.5～5群5枚構成 |
| シャッター | 絞り兼用プログラム電子シャッター 1/4秒～1/280秒(2秒バルブ付) |
| 焦点調整 | 赤外線ノンスキンアクティブ式AF 撮影範囲0.4m～∞ |
| フラッシュ | 低輝度自動発光、0.4～20m (ISO400) |
| フィルム給送 | 電動式、オートロード、オートリターン、途中巻き戻し可能 |
| その他 | パノラマ撮影可能、セルフタイマー、 +2.0EV露出補正、無限撮影 |
| 電源 | リチウム電池(2CR5:6V)1個 |
| 大きさ重さ | 142.5×83.5×57mm、375g(電池別) |

◆ビジネスのニーズに応えるコニカの複写機

コニカは、様々なオフィス・ビジネスのニーズに応えるため普及機から高速機、更にデジタルカラー複写機に至るまでの豊富な商品のラインナップを実現しています。

今回は、それら商品の中でも、高信頼性・高生産性・高画質・大量コピーに応えるコニカ最高速フロアーセンターマシン“Konica U-BIX6192”とコニカのオフィスカラー・ビジネスカラー推進に応えるデジタルカラー複写機“Konica 7728”（フルカラー）及び“Konica 7528”（3色カラー）の3機種を紹介します。

Konica U-BIX6192は、今までに培った高速機技術をベースに、新規技術の採用により機能と耐久性を極限まで追求したコニカ複写機の最高峰に位置するフロアセンターマシンです。

本体と一体型のADU（自動両面コピー装置）をはじめ、連続したコンピュータフォームをそのまま自動送りでコピーできるCFF機能を搭載しているRADF（自動反転原稿送り装置）、大量コピーのページ揃え、仕分け、製本まで自動処理できるスタイルソーターを標準装備し、トータルコピーワークを自動化・高速化しています。オプションの給紙トレイは、大容量給紙可能なPFUか最大新聞1ページ大の原稿（A2）まで簡単にコピーできるマルチ手差しをお客様の使い方により選択できます。

◆Konica U-BIX6192

①高速・高生産性・高信頼性

コニカ最高速のA4サイズで毎分92枚、A3サイズも毎分71枚の高速コピーを実現し、スタッカ&スタックレス両面コピー方式を採用することにより両面コピー

時での高生産性も達成しています。新開発の高速給紙メカニズムにより再生紙に対する給送性も向上させ従来機（当社比）の3倍以上の信頼性を実現しています。

大量コピーユースを想定して、マシンの耐久性・堅牢性に重点を置いた高耐久構造設計になっています。

②高画質

高速コピー時においても画質の劣化を防ぎ一定に維持する高画質設計と新採用の微粒子トナーによる忠実な再現性を実現しています。又、写真モードの採用によりハーフトーンの再現性を一層向上しています。

③最大7,500枚の大容量給紙

本体3段・3000枚に加え、PFUの3段・4500枚を加えると6種類のサイズと7500枚の大量給紙が可能です。

④大型液晶タッチパネルによるユーザーフレンドリーなコピー操作

操作手順をメッセージで表示し画面に触れて操作する大型液晶タッチパネルを採用し、マシンの状態が一目で分かり必要な作業が容易に確認できるヘルプモードを搭載する等、手早く操作ができるように配慮されています。

⑤遠隔診断システム（KRDS）によるサービス性の向上

電話回線を使用して顧客のコピー機の使用状況をサービス拠点において分析、管理する事によりサービスを迅速に提供します。



U-BIX6192PFU



U-BIX6192MT

デジタルフルカラー複写機 Konica 7728 と 3 色（黒・赤・青）を同時コピーできるデジタルマルチカラー複写機 Konica 7528 は、オフィスにおけるビジネスカラーコピーのニーズの発掘と、ビジネスカラー推進の戦略商品として製品化しました。

◆Konica 7728

オフィスにおけるビジネスカラーニーズに応えるために、Konica 9028 で培ったマーカーペンによる多彩な編集機能に加えて、文字・写真判別機能を新たに開発することにより、黒文字の再現性を一層鮮明にいたしました。また、オプションとしてビデオインターフェースキットを準備し、外部OA機器との接続によるカラープリンターへの展開を容易にしました。さらに、紙幣偽造防止・複写追跡機能を搭載し、フルカラー複写機への社会的要請にも応えました。

①文字・写真判別機能

文字と写真が混在する原稿から黒文字を判別し、黒文字は黒一色で現像することにより、一層鮮明で美しい再現性を追求しました。

②紙幣偽造防止・複写追跡機能

世界の主な紙幣は、正常な画像としてコピーされない様自動的に処理する紙幣認識機能を備えました。また、どの機械でコピーされたかを特定可能にする複写追跡機能を備えて、追跡調査を容易にしました。これ

らの機能により社会的要請に応えると共に、偽造抑制の効果が期待できます。

◆Konica 7528

3 色（黒・赤・青）を同時にコピーでき、しかもマーカーペンによる多彩な編集機能などマルチカラー機能で展開をしてきました、Konica 8010・8028 の後継機として、フロントローディング給紙の採用、白黒画質の向上、及び信頼性の向上により一層の商品力の強化を図りました。また、オプションとしてビデオインターフェースキットを準備し、外部OA機器との接続によるマルチカラープリンターへの展開を容易にしました。

①高画質設計

黒トナーの微粒化や写真／新聞原稿モードの採用などに加え、高精度・低振動技術を採用している Konica 7728 の機械構成、機構などの共通化によりアナログ白黒複写機を置き換える可能な高画質と安定性を実現しました。

②省スペース設計

Konica 7728 と共にフロントローディング給紙を採用し、省スペース化を図ると共に、従来のサイドローディング給紙の旧型機イメージを払拭しました。また、Konica 7728 と外観イメージも共通化し、ビジネスカラー機の位置付けも明確にしました。

◆主な仕様

| 機種 | Konica 7728 | Konica 7528 |
|-------------|---|---|
| 複写方式 | レーザー静電方式 | レーザー静電方式 |
| 原稿読取方式 | CCD による平面走査方式 | CCD による平面走査方式 |
| 解像度 | 400 dpi | 400 dpi |
| 複写サイズ | A3、B4、A4、B5、B6、ハガキ | A3、B4、A4、B5、B6、ハガキ |
| ウォームアップタイム | 約 185 秒 (20 °C) | 約 170 秒 (20 °C) |
| ファーストコピータイプ | モノクロ：9.0 秒 (A4 ヨコ) フルカラー：27 秒 (A4 ヨコ) | 単色：8.5 秒 (A4 ヨコ) 2 色：14.2 秒 (A4 ヨコ) 3 色：18.3 秒 (A4 ヨコ) |
| 連続複写速度 | モノクロ：28 枚/分 (A4 ヨコ) フルカラー：6.5 枚/分 (A4 ヨコ) | 単色：28 枚/分 (A4 ヨコ) 2 色：12 枚/分 (A4 ヨコ) 3 色：9 枚/分 (A4 ヨコ) |
| 複写倍率 | 1：1、縮小 3 段、拡大 3 段 2 種類 50 %～400 % | 1：1、縮小 3 段、拡大 3 段 2 種類 50 %～400 % |
| 給紙方式 | フロントローディング方式 自動給紙 (500 枚 × 3 段トレイ) マルチ手差し給紙 (50 枚) | フロントローディング方式 自動給紙 (500 枚 × 3 段トレイ) マルチ手差し給紙 (50 枚) |
| 特殊機能 | 編集機能 (色変換、網かけ、反転、マスク / トリム、色消し)、写真モード、OHP モード、タテ・ヨコ独立変倍、ページ連写、シフト・縮小シフト、枠消し・折り目消し、ジョブメモリー、ACS、APS、AMS、オートリセット、オートシャットオフ、メッセージディスプレイ | 編集機能 (色変換、反転、マスク / トリム、色消し)、写真モード、新聞原稿モード、タテ・ヨコ独立変倍、ページ連写、シフト・縮小シフト、枠消し・折り目消し、ジョブメモリー、ACS、APS、AMS、オートリセット、オートシャットオフ、予熱モード |
| 大きさ | 幅 736 mm × 奥行 707 mm × 高さ 943 mm (本体のみ) | 幅 736 mm × 奥行 660 mm × 高さ 943 mm (本体のみ) |
| 質量 | 約 140 kg (本体のみ) | 約 140 kg (本体のみ) |